

愛媛大学医学部附属病院を受診している患者さんへ

研究に対するご協力をお願い

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。この研究は、愛媛大学医学部附属病院の臨床研究倫理審査委員会での審査・承認後、当院で病院長の許可を受けて実施しております。

今回の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテの情報を利用してほしくない方は、以下のお問い合わせ先までご連絡下さい。ただし、研究結果が出た後など研究の対象から削除できない場合もありますのでご了承ください。

※試料・情報の利用を拒否された場合でも、あなたが不利益を受けることはありません。

研究課題名	免疫チェックポイント阻害薬投与例における栄養指標と予後との関連性：肝臓・胆道癌・膵臓を対象とした後ろ向き観察研究
研究機関名	愛媛大学医学部附属病院
試料・情報の提供を行う研究機関の長	愛媛大学医学部附属病院 病院長 杉山隆 (試料・情報の提供元の管理責任者)
研究責任者 (個人情報管理者)	(診療科名) (職名) (氏名) 肝胆膵・乳腺外科 助教 浦岡未央
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 2026 年 12 月 31 日
対象となる方	2018 年 1 月から 2025 年 4 月に愛媛大学医学部附属病院を受診され肝細胞癌・胆道癌・膵臓癌と診断された方のうち、免疫チェックポイント阻害薬を投与された患者さん
利用する試料・情報等	(利用するカルテ情報) 性別、年齢、ステージ、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等
研究の概要 (目的・方法)	免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) は、肝細胞がん・胆道がん・膵臓がんの一部の患者さんに使われるようになってきていますが、その治療効果を事前に正確に予測できる方法は、まだ十分に確立されていません。 これまでの研究では、PNI (予後栄養指数) という栄養状態を示す指標が、肺がんなどで ICI の効果や副作用と関係があることが報告されています。 しかし、肝細胞がん、胆道がんや膵臓がんでは、PNI などの栄養指標と ICI 治療の効果との関係を詳しく調べた研究はほとんどありません。 そこで本研究では、いくつかの栄養指標 (PNI、GNRI、CONUT 等) を使って、ICI 治療を受けた肝臓がん・胆道がん・膵臓がんの患者さんの生存期間や副作用との関係を比較して調べることを目的としています。

個人情報の保護 について	この研究で収集される試料・情報等は氏名、住所、生年月日など患者さんを直接特定できる情報を削除して誰のものかわからないようにした上で利用いたします。患者さんを特定するための情報（対応表）は、院内で個人情報管理者が厳重に保管し外部への提供は行いません。 また、保管される試料・情報等を新たな研究に利用する場合は、新たな研究として倫理審査委員会に申請し、承認されてから利用いたします。なお、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。
お問い合わせ先	愛媛大学医学部附属病院 肝胆膵・乳腺外科 浦岡 未央 791-0295 愛媛県東温市志津川 454 Tel: 089-960-5327